

# 演習で学ぶ 退職給付会計の実務対応の全て

■日 時■ 2016年 6月 21日(火) 10:00 ~ 17:00 ※昼食休憩 1時間を含む

■会 場■ 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

■講 師■ 井上 雅彦氏 有限責任監査法人トーマツ パートナー 公認会計士

1986年、一橋大学商学部卒業、生命保険会社勤務を経て、88年、中央新光監査法人（現みずほ監査法人入所）。99年より中央青山監査法人パートナーを経て現在に至る。トーマツ内のリースクレジットインダストリー リースリーダー。日本公認会計士協会他で委員等での要職経験多数。

【主な著書等】単著「三訂版キーワードでわかるリースの法律・会計・税務」、単著「三訂増補版キーワードでわかる退職給付会計」、共著「退職給付会計の実務 Q&A」以上税務研究会、単著「Q&A リースの会計・税務（第3版）」、共編者「会計用語辞典」共著「Q&A リース・ノンバンクファイナンス取引の実務」以上日本経済新聞社、単著「事業再編に伴う退職給付制度の設計と会計実務（日本公認会計士協会第35回学術賞受賞）」、共著「退職給付制度見直しの会計実務（第2版）」、共著「退職給付債務の算定方法の選択とイパク」以上中央経済社、単著「退職給付会計実務の手引き」税務経理協会、その他、会計専門誌等にリース会計、退職給付会計に関する論文等執筆多数。各種団体等でのセミナー講演実績多数、明快で懇切丁寧な語り口で好評。

●参加要領●

受講料：資料・サブテキスト・昼食代

正会員	38,880円	本体価格 36,000円
一般	42,120円	本体価格 39,000円

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX または E-mail にてお送りください。後日、受講票・請求書等をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い致します。

※最少催行人数に満たない場合は、中止させていただくこともありますので、予めご承知置き願います。

■申込先：一般社団法人 企業研究会

〒102-0083

千代田区麹町 5-7-2

経営管理研究グループ 担当：居代

E-mail: ishиро@bri.or.jp

TEL 03-5215-3516

FAX 03-5215-0951~2

161303-0606		6/21 演習で学ぶ退職給付会計の実務対応の全て	
会社名			
住所	〒 -		
TEL:	FAX:		
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-mai			
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-mai			

会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP] → [セミナー・会員研究会] → [よくあるご質問] をご参照下さい。

http://www.bri.or.jp

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会催事情報等をご案内する際に利用させていただきます。

## <本講座を受講すれば退職給付会計の実務対応は万全です>

- ◆退職給付会計の実務対応には、「退職給付制度の理解」、「数理計算の理解」、「特殊な会計処理の理解」が必要なため、他の経理項目に比べ、円滑な実務対応や引き継ぎが難しい分野となっています。一方、連結財務諸表への影響のみならず、経営戦略や人事戦略上も重要な影響を及ぼします。
- ◆経理・管理部門の人材が十分でない中、退職給付会計周りの実務対応は特定の方に知識・ノウハウが集中する傾向があり、企業の経理対応や人材育成上も大きなネックになる場合があります。
- ◆そこで、本講座では、実務上、出てくる実際の事例を使って、「演習」形式で退職給付会計の実務を習得いただきます。日本の新しい退職給付基準のエキスを、「演習」を通じて、机上の理屈ではなく、身をもって体感いただく事で、実務に役立つ理論とノウハウをマスターいただきます。

是非この機会に関係各位の積極的ご参加をお薦め致します。

\*当日、サブテキストとして、「三訂増補版 キーワードでわかる退職給付会計」 税務研究会刊 講師著 (定価4,400円 税別) を配布いたします。

### ●プログラム●

10:00

## 第Ⅰ部【理論編】 退職給付会計のポイントと実務対応

退職給付会計を理解するうえで必要な知識から、実務の応用範囲まで重要な論点を中心に、日本の新しい退職給付基準のエキスを十分に理解することができるよう工夫して解説します。また、複雑でバラエティに富む退職給付制度や難解と言われている「数理計算」について、退職給付会計の理解という観点からわかりやすい解説を加え、実務対応を概観します。

## 第Ⅱ部【演習編】 退職給付会計の実務を体得する

昼 食

第Ⅱ部では、第Ⅰ部の理解を前提に、実務上発生する事例を用いて、演習問題を解いていただいた上で、詳細な解説を行います。この際、豊富な実例に裏打ちされた「実務上の陥りやすい失敗例」を交えながら、実務対応に生かしていただける格好の“ねた”を用意します。

### 《まとめ&質疑応答》

\* 内容は変更する場合があります。予めご承知おき願います。

17:00  
終了